

日本・中国・朝鮮の古代史

年代	中国	朝鮮(北)	朝鮮(西)	朝鮮(南)	朝鮮(東)	日本	関さんの本から	他の情報から	私の推理
BC21C~BC16C	夏	櫛目文土器時代				縄文時代			
BC16C~BC11C	商(殷)	無文土器時代					弥生時代		
BC12C~BC256	周								
BC770~BC221	春秋戦国時代								
BC221~BC207	秦								
BC206~220	漢	衛氏朝鮮				弥生時代		4地域(九州北部、瀬戸内海、出雲、北陸)が中国・朝鮮との交易で栄える	糸魚川(越の国)の翡翠が各地の長の飾り物の中にある。
		漢四郡	馬韓	弁韓	辰韓		楯築弥生墳丘墓(吉備)		九州以外としては、瀬戸内海が航路安定、吉備(岡山県倉敷付近)栄える
220~280	三国時代(蜀、魏、呉)					古墳時代	九州北部王朝(倭国)	魏志倭人伝(239)	一番貿易交流しやすい九州北部が栄え、国の形が出来始める
265~420	晋						箸墓古墳(ヤマト)		吉備一族が平地を求めて生駒山を越えヤマトに入る。山岳地帯の多い吉備(岡山)や河内(大阪)は海岸線が近く、多分大地震の際津波が押し寄せたので、山の裏の平地を探したと思われる。箸墓古墳は吉備(物部)の長の墓ではと推察
							神功皇后率いる出雲・北陸軍と14代仲哀天皇率いるヤマト・吉備軍が邪馬台国(卑弥呼)を滅ぼす		神功皇后と仲哀天皇は結婚していたと記述があるが、後世の藤原不比等の作だと思う。神功皇后は、出雲・北陸(越の国)の長だったのだろうと推察
							仲哀天皇は途中で死亡し、神功皇后が関門海峡を支配しトヨと名乗る。武内宿禰が支える		仲哀天皇は、ヤマトに移住した吉備(物部)の長と推察
304~439	五胡十六国時代						関門海峡を支配するため、ヤマト・吉備軍がトヨを攻める。トヨ等は敗れ日向に逃れる。トヨ死亡する。子供の応神天皇を武内宿禰が守る		瀬戸内海勢力の軍勢力増大。その後も村上水軍などに見られるように、政権の争奪に関与した。大三島(尾道のすぐそば、しらなみ海道で行ける)の大山祇神社には源頼朝らの甲冑が飾られている。巨大な薙刀も有名。一見の価値あり。
		高句麗	百済	伽耶	新羅	ヤマトに大災害・疫病流行で人口半減する。「神功皇后の祟り」と考えて日向から15代応神天皇を招く(405)武内宿禰が支える。(神武東征、国譲り)吉備(物部)はヤマトから河内に移る	将軍塚古墳(千曲市)	吉備(物部)は、政権より交易を選び、国譲りをして河内国に移住。物部を祀る日下部神社が大阪にある。武内宿禰と神功皇后の子どもと推察される長男(応神天皇)をヤマトに送り、次男(尾張氏の先祖)を尾張(愛知県)に送る。	

439~589	南北朝時代				21代雄略天皇即位(470)東国との連携強まる。ヤマトの豪族の勢力衰退。吉備氏も衰退する。天皇家が独裁化し、治安乱れる。	稲荷山古墳で雄略天皇名がある鉄剣(471)	尾張氏は勢力拡大し、ヤマトと東国の繋ぎ目として活躍。さらに、諏訪大社や北陸(越の国や福井)や武蔵国(行田)に連帯活動を展開。これがヤマトタケル伝説になったと推察
581~618	隋				26代継体天皇福井より即位(507)	磐井の乱(528)	ヤマトの天皇家が衰退し、大伴氏らが尾張系統の継体天皇を探し出し、ヤマトに連れてくる。
					武内宿禰子孫の蘇我氏が兵庫からヤマトに移る。		
					蘇我氏や聖徳太子が改革実		
618~907	唐	唐支配	統一新羅	飛鳥時代 592~710	乙巳の変(大化の改新)で改革拒否(646)	白村江の戦い(663)	中臣家(鹿島神宮)に百済王子が疎開し養子に入る。中臣鎌足と名乗り、聖徳太子ら出雲一門(蘇我氏、新羅と交流)と対立。天智天皇や秦河勝を巻き込み、蘇我氏の改革を阻止するため反乱。その後、百済を支援すべく朝鮮出兵をするが、唐・新羅連合軍と白村江の戦いで敗れる。
					壬申の乱(672)で天武天皇を東国が支援	藤原不比等により、日本書紀・古事記編纂(680~720)	藤原不比等による古代史捏造により、九州北部勢力の否定と、瀬戸内海勢力の吉備一族(物部氏)の否定と、後に兵庫に入った出雲勢力の武内宿禰と蘇我氏を間の中に葬り去ろうとした。さらに、日向から東遷した応神天皇と尾張氏を英雄化するとともに、その影で活躍することができるように百済から来た中臣鎌足(不比等の父親)を肯定化した。その後も、政治の中心に藤原家(中臣から改名)と宗教の中心に大中臣家(春日大社と鹿島神宮)を置いて絶対的支配者となっていく。
		後高句麗	後百済	新羅	奈良時代 710~794		
907~960	五大十国時代				平安時代 794~1192		
960~1127	北宋と遼・西夏	高麗 918~1289					
1127~1279	南宋と金・蒙古				鎌倉時代 1185~1336		
1271~1368	元	元 高麗 1356~1392					
1368~1616	明	李氏朝鮮 1392~1897			室町時代		
					戦国時代		
1616~1912	清				安土桃山時代		
					江戸時代		
		大韓帝国			明治時代		